

<基本情報>

所在地：鹿児島県熊毛郡屋久島町安房2457-43

社員10名

<農場概要>

茶園35.4ha（平成30年10月現在）（やぶきた31%, さえみどり29%, ゆたかみどり16%, あさつゆ9%他 全11品種栽培）

<ハラダ製茶のこだわり>

「創業100年を超えて、美味しさを安全に、という品質と日本の「お茶」の新たな可能性を求めて。」



<GAPの取得のきっかけ>

食品工場で実践してきた生産管理手法(GMP)を茶栽培の工程から活用し、取引先からの一層の信頼を得たいという思いからGAPに取組んだ。

平成20年日本の緑茶業界で初のGLOBAL G.A.P.とJGAPの認証を取得。

<GAP認証取得で苦労したこと>

■GLOBAL G.A.P.しか規格がない状況で、取り組みをスタートする。
このため、GLOBAL G.A.P.独特の要求体系への理解に苦労する。

例えば…

- ◎ 海外の農業体系（経営者と作業員がいる大規模経営）を想定した規格になっている
- ◎ 英語から日本語に翻訳されるなかで、規格の本質がわかりにくくなっている
- ◎ IPM (Integrated Pest Management) やPPP (Plant Protection Products) などの聞きなれない言葉が多い
- ◎ 海外では“茶”といえば“紅茶”が主流で、紅茶の製造をベースにした規格内容になっている
- ◎ ISO、FSSC22000とは異なり、一般原則（GR）やAnnexといった関連文書の比重が大きく、これらの理解も必要である

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆自らの仕事に対する自信

生産工程を整理、管理することによって、間違いがない作業ができる、間違えていれば修正することが確実にできる。

◆リスク管理への理解（リスク=発生頻度×重篤性）

リスクの定義が明確となり、生産工程でリスク管理をするという見方が広まった。その結果、食品安全・作業効率の向上に繋がった。

◆法規法令の遵守

農業に必要な法令を見直し、整理することでこれまで以上に地域社会との繋がりが深まった。例えば、水の採取届、労働安全講習、燃料の取り扱いなど。



【お問合せ先】 TEL:0997-46-2369 Fax:0997-46-4035

HP <http://www.harada-tea.co.jp/>